

# 愛媛大学で考える アグリ・フードのスタートアップ

参加無料

農林水産省の推計<sup>1)</sup>によれば、2040年の食料支出総額は、人口減少が続くにもかかわらず、2015年の水準を維持すると予測されている。これは、ライフスタイルや食生活の多様化によって一人当たりの食料支出が増加し、人口減少による支出減を相殺するためである。このことは、日本人の多様化する食ニーズに対応するためのアグリ・フードイノベーションが必要であることを示唆している。特に、愛媛県内の中山間地域に広がる中小規模農業は、こうした多様なニーズに応える希少で高付加価値の農産物を生産する役割を担うべきである。本セミナーでは、愛媛大学のアグリ・フード関連のアントレプレナーシッププログラムと、それが目指す地域イノベーションの在り方について展望する。

1) 我が国の食料消費の将来推計(2019年版)(農林水産省R1.8.30)

日時 令和6年9月3日(火) 14:00~16:10

場所 愛媛大学農学部 アクティブラーニングスペース(オンライン併用)  
(〒790-8566 松山市樽味3丁目5番7号)

問い合わせ先 愛媛大学農学部緑化環境工学研究室(担当:松田)

☎ 089-946-9850 E-mail:pd@agr.ehime-u.ac.jp

申込みフォームURL

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf5rh6tYPx86QycxpT0kiOVglWwd3WyFU710b8uas7WBS7d2g/viewform>



## 次 第

司会: 藤内直道(愛媛大学大学院農学研究科 准教授)

- 14:00 | 開会の挨拶  
秋丸國廣(NPO産学連携学会 理事、愛媛大学 教授)
- 14:10 | 「AgVenture Labが考える大学発のアグリ・フードイノベーション」  
萩野浩輝(AgVenture Lab代表理事理事長)
- 14:50 | 愛媛大学アントレプレナーシッププログラム受講者からの事例報告  
事例報告1 岩川佳廉(愛媛大学農学部2回生、えひめ学生起業塾5期生)  
事例報告2 大田望未(愛媛大学農学部2回生、えひめ学生起業塾5期生)
- 15:20 | パネルディスカッション  
「愛媛大学だからできる産学連携・スタートアップでイノベーション」  
コーディネーター: 高山弘太郎(愛媛大学大学院農学研究科 教授)  
パネリスト: 萩野浩輝(前出)、岩川佳廉(前出)、大田望未(前出)
- 16:00 | 閉会の挨拶  
羽藤堅治(愛媛大学副学長、先端農業R&Dセンター副センター長、大学院農学研究科 教授)
- 16:10 | 閉会

主催 愛媛大学 先端農業R&Dセンター

共催 愛媛大学アントレプレナーシップ教育プログラム、  
植物生体情報DXによる栽培ノウハウの継承コンソーシアム(愛媛県デジタル実装加速化プロジェクト「トライアングルエヒメ」採択事業)

後援 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター、一般社団法人日本施設園芸協会